

広島市植物公園 見どころ案内

ヤツデ (ウコギ科)

葉が複数に裂けることから八つ手と呼ばれますが、実際は七つか九つに裂けることが多いです。白い花が咲き始めています。

2019年12月14日
通巻第445号

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (10/19~12/24)
特別企画展 種子の不思議展
- ◇展示温室(11/23~12/25)
クリスマス飾るフラワー展
- ◇イベント広場他(11/23~12/22までの土日)
花と光のページェント(夜間開園)

カラマツ (マツ科)

漢字で書くと、「唐松」ですが、日本固有種です。また、唯一の落葉する針葉樹です。信州や北海道では、戦後の拡大造林の時代に大量に植林されました。軽井沢の自然を歌った野上彰の「落葉松」は名曲です。

チャバンセンニン

(ツルボラン科)

南アフリカ原産のアロエの一種です。明るいオレンジ色の花を咲かせています。名前は、学名のアロエ・チャバウディーをもじったものです。幅広の葉で棘はあまり目立ちません。別名で洞乳錦とも呼ばれています。

ナンキンハゼ

(トウダイグサ科)

中国原産。ハゼノキと同様に蠟や油を探ることができます。鳥が種を運び、野山に逸出することがよくあります。

カエンカズラ

(ノウゼンカズラ科)

ブラジル原産。橙色でラッパ型の花をつけています。沖縄では民家の生垣などによく用いられる丈夫なつる植物です。

ビヨウタコノキ (タコノキ科)

マダガスカル原産。タコノキ科でも特に葉が美しいことから美葉(ビヨウ)タコノキと呼ばれています。雌雄異株。この株は丸いゴツゴツした実が付いているので雌株です。

クロガネモチ (モチノキ科)

濃い緑葉と赤実のコントラストが美しいです。雌雄異株なので、赤い実が付いている株は雌株です。樹皮から鳥もちを作ることができますが、小鳥を捕ることは鳥獣保護法で禁止されています。

さんばがわふゆざくら

三波川冬桜 (バラ科)

オオシマザクラとマメザクラの交配種と言われています。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

ユリノキ (モクレン科)

北米原産。果実はカエデのような翼果が多数集まった集合果です。

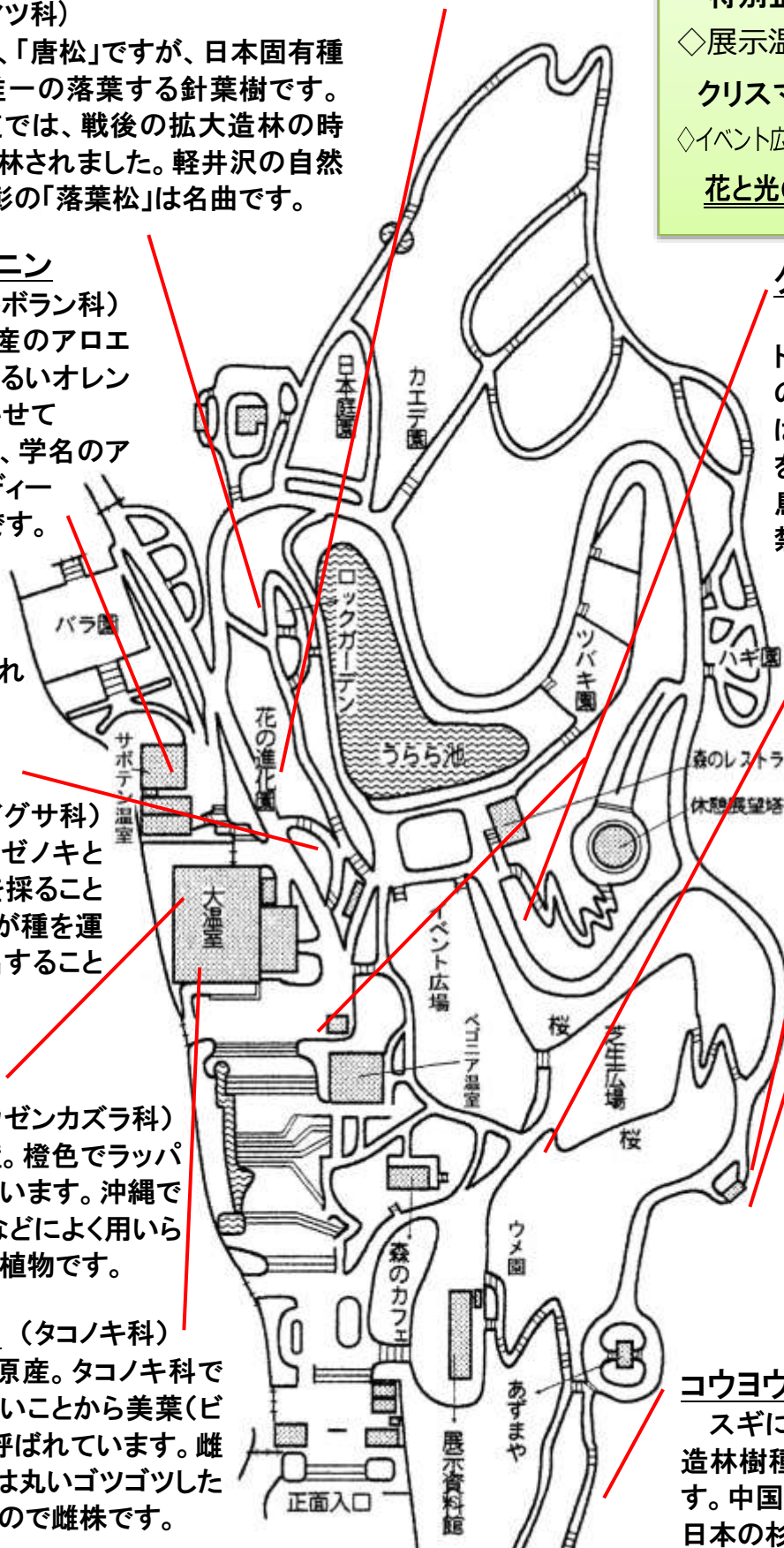
セイヨウヒイラギ

(モチノキ科)

英語ではホーリー(Holly)と呼び、赤い実のついた枝はクリスマスの装飾に用いられます。雌雄異株ですが、単為結果するので、雌株のみで実が付きまます。モクセイ科ではなくモチノキの仲間で、ヒイラギモチとも呼ばれます。

コウヨウザン (ヒノキ科)

スギに代わり、広島県が推奨する造林樹種として注目が集まっています。中国語では、本種を杉(シャン)、日本の杉は柳杉と呼称します。



❖毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します❖
❖毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します❖